

■総合文化センターの現状と課題

- ・グランシアタ（1,966席）及び音の泉ホール（710席）、会議室やアトリウム、練習室など様々な機能を備えた**本県芸術文化の中核施設**
- ・平成10年9月の開館以来、両ホールは延べ**553万人**が来場
- ・多くの県民に活用される場所として**施設の安心・安全の確保**が必須
- ・開館後24年が経過し**設備の老朽化や陳腐化が顕在化**しているほか、ユニバーサルデザインへの対応等、**施設利用者からの要望**が多くある

■天井脱落対策に係る改修工事の実施

- ・東日本大震災の際にホール等の天井落下が発生したことを契機に、国が天井脱落対策に係る法令【建築基準法】を改正（H26.4月施行）
- ・「特定天井」に該当するグランシアタ・音の泉ホール及びホワイエの天井の耐震改修工事を実施（R5.4月～R6.5月頃）

令和5年4月から約14カ月にわたり
グランシアタ・音の泉両ホールを長期休館



取組方針

長期休館期間を活用し、利用者からの要望を踏まえた機能向上改修を実施することで、本県の芸術文化活動の拠点としての更なる利活用の促進を図る。

ホール利用率 87%
入場者数 25万人
(年間) を目指す

■機能向上改修工事主要内容

ユニバーサルデザイン化

グランシアタ 女性用トイレの拡充

- 公演時の混雑解消の要望が多い女性トイレを拡充し、利用者の満足度向上を図る

- 女性用 個室（22室→36室）
洗面（10台※変更なし）
- ※男性用 小用（14台※変更なし）



車椅子席（可動席）の増設

- 可動式で取り外し、車椅子が鑑賞できる車椅子対応座席を増設する

- グランシアタ（12席→36席）
- 音の泉ホール（0席→16席）



施設の競争力の向上

舞台吊物機構のデジタル化

- 複雑で多彩な演出を可能とするデジタル制御盤の導入



照明配線の光ケーブル化

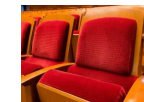
- 複雑で多彩な照明演出を可能とする照明用光ケーブルの導入



設備の刷新と充実

座席の修繕・クリーニング・抗菌加工

- 座席の経年劣化の改善及び抗菌加工を行う



グランシアタ カーペット張替え

- カーペットの経年劣化改善を行う



その他

- 舞台面の研磨
- 舞台幕の更新、緞帳クリーニング
- ピアノのオーバーホール・修理・更新

令和6年5月 リニューアルオープン